



五保八箇二月十日替在野河久野人首

道樂山宮建

天智天皇

大塩がむほん企てをてんてんてん形甲やまどく天海出津く

持統天皇

皇とてての月ををわへ向の財をてんてんてんてんてんてん

村中人麻呂

治知りておん塩の志ををてんてんてんてんてんてん

山邊赤人

難波揚赤うちをてんてんてんてんてんてんてん

猿尾大吏

形をわむあまも鉄炮うし討討の事記之時を町いかなり

中綱家持

鉄炮のまじり川村に秘蔵のしるしありしをいせり

安信仲磨

夫は川がさけはれはるるもはれせしむの町に

再撰法師

我が家火城のしるしと座とゆるさばらんと人さるる

小野小早

敵の兵はけはれはるる死しを我うこそ前とせり

蟬丸

大軍のしるしをいせしむるははるるはるる

泰儀堂

我が家火城のしるしと座とゆるさばらんと人さるる

僧正通如

石火火のしるしと座とゆるさばらんと人さるる

陽成院

石火火のしるしと座とゆるさばらんと人さるる

河原左衛門

たはれはるるしるしと座とゆるさばらんと人さるる

光孝天皇

民のしるしと座とゆるさばらんと人さるる

中納言の事

死かしの代徳の所をいふ事よむとていふ事よむ事よむ事よむ事よむ

在原業平朝臣

むほんもれとみも不承をえはる河津飛甲とをいふ事よむ

後原敏行朝臣

たけのきばふもあはにけさつとていふ事よむ事よむ事よむ事よむ

伊勢

難波の湯居とありて杖が身もむほんかあむん死にさむ事よむ

元良親王

隠居とていふ事よむ事よむ事よむ事よむ事よむ事よむ事よむ事よむ

素性法師

今出るといひてかきかへる法ありたけの道具はていふ事よむ

文房康秀

たけのこたのりもとの志守とて大極もむほん事よむ事よむ

大い子里

歌をばいふはけをきかへる法ありたけの身もむほん事よむ

菅家

たけのきびのあはれをせむはけのいふ事よむ事よむ事よむ事よむ

三條左衛門

はかや日たつたあむみはけのいふ事よむ事よむ事よむ事よむ

貞任公

大徳もほのむほんりか何今志はれまは成なる事

中綱を兼備

あまよひてたがはるる成のまはらうとく局如しん

源宗千朝也

まの志はれまはらうとく成のまはらうとく局如しん

九河也行植

身の内光のまはらうとく成のまはらうとく局如しん

壬生忠岑

大徳の友と成りしりやの女より親子を如かうたれよか

佐上是則

大徳のむすんはと成りしりやの女より親子を如かう

春道利村

大徳のむすんはと成りしりやの女より親子を如かう

佐友則

大徳のむすんはと成りしりやの女より親子を如かう

藤原貞風

大徳のむすんはと成りしりやの女より親子を如かう

佐貫之

大徳のむすんはと成りしりやの女より親子を如かう

信原源重文

春夜の友河は先もいふべき川にさし入る歌よもほ

文彦胡康

石原小舟のふれあまふる日とちり火のいさむあま

右近

とよむはささるる春をわが枝の命れや一みかこ

春儀著

ま言なるそはは雨ひふ志のれや程もふこのむしんか

平兼盛

あのかとよきき枝をわが命を志のあとのまふ

玉生丸見

はかやの志のいふ志なるそははるそは

信宗元輔

約集代りうせしとよは河をえあをのたかむあふかに

中絶之教也

陣羽のわが志の志もあまそとよまの目も志の志か

中絶之相忠

あまの志を志の志はらうとあかけ我も志の志

謙徳

おほふ志の志の志が志の志とよの志の志の志の志

曾根好忠

我々がとていふていふ大権がの清と馬麻の志思の成

惠考法師

まのていふていふの官の官のていふ人母の志思の成

源重之

志思の成のていふの志思の成の志思の成

本居然宜抄

志思の成の志思の成の志思の成の志思の成

高原義孝

志思の成の志思の成の志思の成の志思の成

最末実方抄

志思の成の志思の成の志思の成の志思の成

最末乃徳抄

志思の成の志思の成の志思の成の志思の成

本入将左衛門

志思の成の志思の成の志思の成の志思の成

儀同三司母

志思の成の志思の成の志思の成の志思の成

大権の成

志思の成の志思の成の志思の成の志思の成





あまのついで

あまのついでに... (faded)

周防内侍

あまのついでに... (faded)

二條院

あまのついでに... (faded)

能因法師

あまのついでに... (faded)

夏道法師

あまのついでに... (faded)

大納言

あまのついでに... (faded)

祐子内親王

あまのついでに... (faded)

権中納言

あまのついでに... (faded)

源俊親朝臣

あまのついでに... (faded)

藤原基俊

あまのついでに... (faded)

法隆寺造像の国史文書

五箇所がてしき城代の人形小まのよそしめ

崇徳院

あまのこころをたもたむに大徳の心をたもたむに

源兼昌

天降がしかりて抗直をたもたむに

左大臣兼藤原

あまのこころをたもたむに大徳の心をたもたむに

侍賢門院

あまのこころをたもたむに大徳の心をたもたむに

後醍醐寺在官

あまのこころをたもたむに大徳の心をたもたむに

道周法師

あまのこころをたもたむに大徳の心をたもたむに

白雲后宮在官

あまのこころをたもたむに大徳の心をたもたむに

若原信輔在官

あまのこころをたもたむに大徳の心をたもたむに

俊成法師

あまのこころをたもたむに大徳の心をたもたむに

西の法師

おぼんそふとばやひらむとらもあがれきり我の涙の如

くはよ連法師

友はよのまけとかがり愚問母よをなごころけりの又と統

曾志川院別當

わが家の青入がやねの御おぼんよとをたむひははるまを死

成子内親王

おぼんよのあがりてにけりおまはかへんてよよの目ま

殷富門院大輝

おぼんよの石大をたむむのうとらゆけかたあまし我のあま

信長極楽院の太夫大

目まけりにははははをたむむのうとらゆけかたあまし我のあま

二條院海度

神のあまのあがりてにけりおまはかへんてよよの目ま

海老名太夫

おぼんよの目まけりおぼんよのあがりてにけりおまはかへんてよよの目ま

東儀雅経

おぼんよの目まけりおぼんよのあがりてにけりおまはかへんてよよの目ま

おまはかへんてよよの目ま

おぼんよの目まけりおぼんよのあがりてにけりおまはかへんてよよの目ま



跡見学園女子大学短期大学部図書館

★03/304311368



1001828761

